

# 新宮城の魅力を内外に発信

## 11月に水野家入部400年記念事業

新宮市

水野家入部400年記念事業実行委員会（委員長・田岡実千年新宮市長）、（一財）自治総合センター主催の水野家入部400年記念事業「水野家と新宮城下町」の開催が11月9日（土）、10日（日）に決まり、新宮市役所で17日、記者発表が行われた。田岡市長は「新宮城は石垣が全国的に有名。この機会に県内外から多くの人に実物を見に来ていただければ」と呼び掛けた。



田岡実千年市長（中央）＝17日、新宮市役所

今年、元新宮領主水野家入部・浅野家移封400年を迎える節目の年。記念事業開催により、新宮城の魅力が市内外に発

信し、歴史と文化のまち新宮市を広くPRし、市民意識を醸成するとともに、城郭ファンをはじめとした交流人口の拡大を図っていく。事業費は720万円。

・ヨアヒム・ペロイターさんをドイツから招き、「水野家入部と新宮の発展」（仮）と題したシンポジウムを開催するほか、モニカさんと健さん、先頭に、当時の衣装を着た関係者らによる「新宮城入城ウォーク」などが催される。

水野家交流自治体である刈谷市（愛知県）、福山市（広島県）、結城市（茨城県）や、浅野家の移封先である三原市（広島県）、姉妹都市の名取市（宮城県）、昨年10月に「歴史・文化・産業交流都市協定」を締結した気仙沼市などにも参加を要請し、シンポジウムや物産展、PR展示などを展開していく。

記者発表に先立ち、田岡市長が「これを機に関係交流都市や友好都市と親交を深めるとともに、モニカ・水野・ペロイターさんにも協力をお願いしドイツとの交流も期待している」とあいさつ。旧チャップマン邸を拠点とした商店街周遊イベント「ナイトタイムエコノミー」や新宮城でのステーションイベント、チャンバラ合戦「IKUSA」などの開催も予定しており、事務局では随時情報を公開していくとしている。（西久保勢津子）